

広報 ㊦
No.751
令和8年

いいたて 9

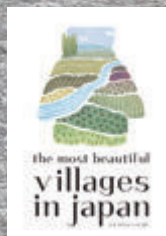
www.vill.iitate.fukushima.jp

2026.9.30
Happy
Birthday

飯舘村村制施行 70 周年



70 周年イベントのお知らせを掲載しています。
みんなで飯舘村の 70 周年をお祝いしましょう！



今月の話題

目次 CONTENTS

- 03 話題「いいたてナイター駅伝」
- 04 特集「立村70周年 写真で振り返る飯館村70年の軌跡」
- 08 学びの広場「いいたてっ子の夏休み」
- 12 特集2「未来への布石 企業立地・連携への挑戦」
- 14 空から百景「デントコーン畑」
- 16 ほけんとふくし「飯館村長寿番付」
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせInformation／8月のできごと
- 24 いいたて20行政区 vol.5 小宮行政区
- 25 いいたて今昔物語／ふれ愛館だより
- 26 暮らしの耳より情報「資源ごみ」／いいたてPHOTOリレー
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS「ほんの森まつり」ほか

美しい村を
未来につな
ぎましょう

「日本で最も美しい村」連合ビューティフルデー活動にご協力を

飯館村が加盟する「日本で最も美しい村」連合では、連合の設立日に合わせ、美化活動や文化継承活動を行っています。

村は10月6日にこの活動に取り組みます。皆さんと一緒に、美しい村を維持する活動にご協力ください。今回は、交流センター「ふれ愛館」周辺のゴミ拾い活動を行います。

ビューティフルデー活動

10月6日 火

午前10時から11時30分頃
※午前9時30分集合※雨天中止
交流センター「ふれ愛館」



参加方法 9月30日までに電話またはメールで村づくり推進課企画定住係にお申し込みください。

☎ 0244-42-1622

✉ kikaku@vill.iitate.fukushima.jp

参加記念にオリジナルメッシュ
キャップを差し上げます。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

📷 昭和31年(1956年)に誕生した飯館村は、今年9月30日に村制施行70周年を迎えます。10月4日には、村民の皆さんと飯館村の誕生日を祝う「70周年の歩みに感謝と喜びをともにする集い」を、盛りだくさんの内容で開催します。本紙P7にイベントの情報を掲載しています。どうぞお誘い合わせの上、ご来場ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613までお知らせください。

夏の夕暮れに仲間とタスキをつないで

賞品は黒毛和牛!

実況も応援も最高!

立村70周年記念『いいたてナイター駅伝2026』

8月1日、いいたてスポーツ公園で、立村70周年記念『第5回いいたてナイター駅伝』を開催しました。5年連続の開催で、3部門合わせてこれまでで最高の62チームが出場しました。

夕暮れ迫る午後4時からの開会式では、東京大学運動会応援部によるエールや、箱根駅伝に3度出場し社会人選手としても活躍した尾田寛幸さんのランニング教室が大会ムードを盛り上げました。

レース会場にはBGMが流れ、実行委員長の佐藤彰洋さん(二枚橋・須萱)と「までの里のこども園」保育教諭の木幡貴彦さんが、ナチュラートークの実況解説で選手たちの背中を押し続けます。この大会ならではの心地よい雰囲気の中、選手一人ひとりが自分の限界に挑戦し、仲間とタスキをつなぎました。

入賞チームには、焼肉セットなど飯館産黒毛和牛の賞品が贈られました。村外から初めて参加した選手二人は「楽しく走れました。他にはない素敵な大会。また来たい」と話していました。

チーム飯館の
団結力にも感動!

立村70周年

写真で振り返る

飯舘村70年の軌跡



昭和31年（1956年）に飯舘村と大舘村が合併し、飯舘村が誕生してから70年。
令和8年9月30日、私達のふるさと飯舘村は、70周年を迎えます。
飯舘村の70年間の歩みの一部を、写真を交えて振り返ってみましょう。
また、P7では10月4日に開催する70周年記念のイベントについてもお知らせします。
飯舘村の足跡を心に刻み、みんなで楽しく飯舘村の誕生日を祝いましょう！



飯舘村役場が草野地区に建設され、昭和35年9月に完成しました。飯舘地区には支所が設置されました。



昭和36年4月25日、草野地区で大火が発生。懸命な消火活動で鎮火しましたが大きな爪痕を残しました。



村民体育大会。昭和38年の第1回は2方部に分かれて開催されました。写真の第2回からは統一大会に。



村おこしイベントが盛んに。写真は昭和60年開催の大山牧場フェスティバル。約2000人が来場！



たくましい開拓精神でこの地を拓いた先人の歩み、ままでの暮らしが、飯舘村を形づくってきました。



平成元年、第1回若妻の翼。「女性がいきいきと暮らせる村に」と農家のお嫁さんをヨーロッパへ派遣。



県営の多目的ダム「真野ダム」は平成3年に完成。現在は「はやま湖」として親しまれています。



平成7年、村内初の書店、村営の「ほんの森」がオープン。多くの村民が親しみ利用しました。



昭和54年に落成した「村民の森あいの沢」のため池に、平成12年、「あいの浮橋」が完成。エリアのシンボルに。



冷涼な気候を活かした花卉栽培が盛んに。平成12年には花卉の販売額が1億円を突破しました。



役場機能は、平成23年6月に飯野出張所（福島市）へ移転。



「ふくしま駅伝」村の部で連勝を重ね、平成13年の第13回大会で、村の部10連覇を達成しました。



平成17年、飯舘村が、県内第1号の「どぶろく特区」の認定を受け、どぶろくの製造が可能になりました。



平成23年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生。当日に災害対策本部が立ち上げられました。



原発事故の影響で全村避難。「いいたて全村見守り隊」が村の臨時職員として防犯パトロールを開始。



学校、幼稚園、保育所も仮設の校舎・園舎に移転。子ども達も頑張りました。写真は平成24年10月の運動会。



立村70周年記念イベント

みんなでお祝いしよう！

70周年の歩みに 感謝と喜びを ともにする集い

10月4日 日 午前10時～午後3時

いいたて希望の里学園体育館＋体育館周辺

第1部 敬老会式典 午前10時～午前10時45分（受付開始 午前9時）

ふるさとを育み支えてくださった敬老者の皆さんをお迎えし感謝を伝えます。

ステージ発表 午前10時45分～午前11時15分

村の子ども達がステージに登場。感謝の式典に華を添えます。

昼食休憩 グルメブースをお楽しみください！

第2部 記念アトラクション 正午～午後2時

映像で振り返る70年 70年の10大ニュース発表！ほか

参加
無料

申込
不要

コロッケ ステージショー



ものまねタレントのバイオニアにして最高峰！
コロッケさんが飯舘村の70周年を祝うステージに登場します。
爆笑必至のハイクオリティなショーをお楽しみください！

映像で70年を振り返ります

過去の貴重な映像・写真を盛り込んで、飯舘村の70年を振り返る記録映像を制作。記念イベントのアトラクションとして上映します。

70年間の10大ニュースを発表！

飯舘村の70年間のできごとから、村民の皆さんの投票で選ばれた10大ニュースを会場で発表。どうぞお楽しみに！

飲食コーナーや物販ブースも！

会場横のエリアに飲食・物販コーナーが登場します。ふるさと自慢のグルメも味わえます。開店時間は午前11時から午後3時まで！

深谷復興拠点エリア。道の駅や広場、ドッグランなどが整備されました。写真は令和5年の全景です。



農業の担い手の皆さんの尽力により、里山の風景が一步步戻ってきています。写真は令和6年の深谷地区。



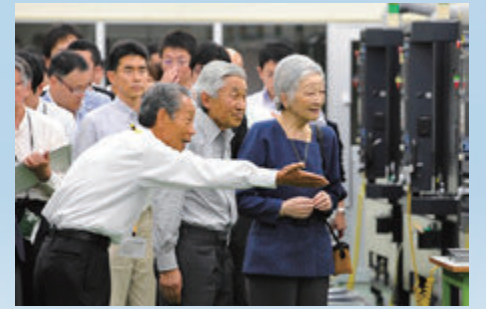
令和5年に特定復興再生拠点区域等で避難指示が解除された長泥地区で、令和7年、営農が再開されました。



令和7年、村内初のドラッグストア「ハシドラッグ飯舘店」が公設民営で待望のオープン。



平成25年、当時の天皇后陛下が飯舘村をご訪問。仮設小学校と、菊池製作所で村民を励まされました。



平成25年秋の行政区地域づくりワークショップ。復興計画の策定に向け部会や委員会も協議を重ねました。



平成29年3月に19行政区で避難指示が解除。前年に完成した交流センター「ふれ愛館」で記念の式典を開催。



平成30年に「までのりの里のこども園」が開園。令和2年に義務教育学校「いいたて希望の里学園」が開校。



飯舘村で復活した「あぶくもち」の栽培。栽培面積を拡大しながら特産品としての価値を高めています。



いたてっ子の夏休み

オーストラリアでの語学研修、学童さんの体験講座、大学生との学習交流。
いたてっ子の夏休みのワクワク体験を村民の皆さんにお伝えします。

オーストラリアで語学研修！ 8月4日～11日 希望の里WAKUWAKU Eツアー

いたて希望の里学園後期課程の生徒を対象とした語学研修『希望の里WAKUWAKU Eツアー』が、8月4日から6泊8日の日程で実施され、研修参加を希望した生徒20人がオーストラリアを訪れました。

生徒は、ブルーマウンテンズ国立公園で知られるカトゥーンバに滞在し、ホスト校で語学研修を受けながら子ども達と交流。3泊4日のホームステイでは、それぞれの家庭で積極的にコミュニケーションを試み、充実した時間を過ごしたようです。また、シドニーでは、歴史的なスポットや人気のビーチを訪れ、現地の大学生と街に出るワールドワークも体験。さまざまな人に出会い、暮らしや文化に触れて、「世界」を体感していました。かけがえのない学びや成長が見て取れる生徒のレポートの抜粋と共に、旅のアルバムを掲載します。

Australia
オーストラリア

Katoomba
カトゥーンバ
Sydney
シドニー
Canberra
キャンベラ

いたてっ子が仲間と共にオーストラリアの旅へ
体当たりの異文化体験で大きく成長！

THANKS! AUSTRALIA



Eツアーは隔年実施の語学研修の旅。語学だけじゃないたくさんの学びがあるみたい。

ハプニングもいい経験だった。人の温かみや思いが感じられた。この先、英語を幅広く学びたい。それを人間関係にも応用して人との関わりを大事にしたい。何事も経験なんだということを、再来年行く弟に伝えたい。

この研修を通して異なる文化や考え方を知ることの大切さを学びました。これからは自分の考え方に捉われず、相手との違いを受け入れながら、さまざまな視点から物事を考えることを意識したいです。

がぜん英語を学びたい!と思った。

ホストファミリーと一緒にオーストラリアの日常生活を体験。



オーストラリアの人は誰とでも分け隔てなく接していた。自分をアピールする姿勢も印象に残った。

ホストファミリーとの生活が心に残った。もっと英語が上手になりたいと思った。これからの進路においても英語を生かしてもっと異文化に触れてみたい。今回の思い出を研修を支えてくださった方や家族に伝えたいと思った。



4つの班に分かれ、現地大学生の案内でシドニー市内を散策。

言葉が通じないことが不安でしたが、話せないならコミュニケーションで外国の方とこんなに楽しく過ごすことができることを知りました。すごく楽しかった。もっと英語を学びたいし、新しいチャレンジもしていきたい。

英語のプレゼンがすらすら読めてうれしかった。



けん玉を紹介したり、皆で盆踊りをしたり、プレゼン也大成功！

ホームステイ先や学校で友達ができた。オーストラリアのこともいろいろ知ることができた。「英語で何て言うの?」「それはどういう意味?」分からなかったら勇気を持って聞いて、楽しむ!そしたらいろいろな自分を見つけられる。

ホスト校では現地の同世代と交流。語学研修も頑張りました。



知っている限りの単語を言ったりジェスチャーで表現したり最大限のことをした。すごく楽しかった。

8月17日から20日の4日間、上智大学の学生9人が、いいたて希望の里学園を訪れ、後期課程の生徒を対象に学習指導を行っていただくと共に、部活動やレクリエーションで交流しました。

学習指導では、個別に苦手な分野を教えてもらうなど、丁寧な学びの支援を受け、「わかることが増えた」と実感を語る生徒もいました。

最終日のお別れ会では、レクリエーションで交流を深め、楽しく過ごした4日間を振り返り、感謝を伝え合いました。



後期課程の生徒が上智大学の学生と交流



令和9年度に新1年生になるお子様の「就学時健康診断」を実施します



問 飯舘村教育委員会 ☎0244-42-1631

飯舘村で就学時健康診断を実施します。つきましては、当日は保護者様同伴のうえ、忘れずにお子様を受診させていただきますようお願いいたします。

- 日時 令和8年10月2日(金)
- 場所 飯舘村立いいたて希望の里学園
- 受付 午後1時～午後1時15分

詳細については、保護者様宛に改めて通知をお送りします。また、合わせて新入学児童の健康調査票も送付しますので、ご確認の上、期日までに記入し、ご提出いただきますようお願いいたします。

音楽教室_8月3日



「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」の佐藤祐喜さん、小川奈々恵さん、クラシックギター奏者の小林政貴さんを講師に、音楽鑑賞と楽器の演奏体験!

人権教室_8月4日



講師は飯舘村人権擁護委員の皆さん。「人権」とは何かを、分かりやすい言葉で解説いただき、子どもの「愛される権利」について学びました。

環境教室_8月6日



東急不動産の主催。「村民の森あいの沢」に生息する生き物を興味津々で観察した他、拾い集めた落ち葉の貼り絵を楽しみ、身近な自然に親しみました。

ダンスセラピー教室_8月18日



飯舘村地域おこし協力隊の小幡葉子さんによるダンスセラピー教室。音楽に合わせて思い切り体を動かして、リズム遊びやダンスを楽しみました。

避難訓練_7月22日



火災を想定した避難訓練では先生の指示に従って迅速に避難。消防飯舘分署の協力で、学童保育の先生方も消火器の使い方を学び訓練しました。

おこづかいからまなぶお金の話_7月23日



金融経済教育推進機構の田崎由子さんを講師に、お金を使い過ぎない工夫や、「ほしいもの」と「必要なもの」をよく考えて買う方法などを学びました。

食育教室_7月28日



「食を考える会」の皆さんを講師に、グループに分かれて、ミートボールスコッチエッグやヨーグルトサラダなどを調理。後片付けまで協力して頑張りました。

木工教室_7月30日



渡邊富士男さん(飯樋町)に教わり、どんぐりの木工細工と木製キーホルダーを製作。それぞれ素敵な作品を完成させて、友達の作品も鑑賞しました。

学童保育へつくしんぼハウス」の夏休み

夏休み期間を生かしてさまざまな活動に挑戦しました。

未来への布石 企業立地・連携への挑戦

村は、第7次総合振興計画に基づき、地域の皆さんと共に、村をより豊かに暮らしやすく発展させることに賛同する意欲高い企業や事業者の皆様との連携を図ってきています。今年度に入って連携協定を締結した2つの企業の事例を紹介します。

地域振興・持続可能な地域社会の発展に向けて連携

東急不動産株式会社

飯館村、東急不動産株式会社、飯館村総合振興計画推進協議会（菅野宗夫会長／佐須）の3者で、今年の5月12日に地域連携協定を締結しました。

東京都渋谷区に本社を置く同社は、大手総合不動産会社で都市開発などに実績があり、持続可能な地域づくりを目指す全国の自治体と、目的に応じた連携協定を結んで協力しています。

村と同社の協定に基づく連携の具体化に向けては、総合振興計画推進協議会にて協議を行っていきます。同協議会は、飯館村の総合振興計画の推進や地域振興を図る組織です。

連携協定の協定書
※飯館村HPから



連携の内容

- 地域産業の振興
- 地場産品の知名度向上
- 地域資源の活用
- 地域コミュニティの活性化に貢献
- 次世代人材の育成
- 教育機関や企業との協働・連携
- 観光振興
- 交流人口の拡大
- 「住民福祉に資する」再生可能エネルギー事業



夏休みの学童保育にて同社が企画した環境教室。

この協定に至った経緯は？

東急不動産株式会社からの「地域づくりや課題解決と一緒に考えていきたい」という申し出について、議会や行政区長会、勉強会などでのご意見も踏まえて、飯館村総合振興計画推進協議会（本年4月設立）で協議した結果、3者による「地域連携」協定を締結することとなりました。

今後この協定に基づき、3者が一緒に「地域共生策」の具体化に向けて検討を進めていきます。

この協定で風力発電所の設置計画が決まったの？

いいえ。この協定は地域連携協定であり、立地協定ではありません。

同社は現在、環境影響評価法等に基づく手続きに取り組んでいる段階です。今後、法定の説明会や資料公表の他、「いいたて美しい村づくり推進審議会」での審議なども経て、県による許認可が判断されるものと想定しています。

協定により村民が期待できることは何？

村民、村に加え、事業者も一緒に「地域づくり」に取り組むことの明確化とその実現が期待されます。協定書には、上記にもある通り、「村の地域産業の振興」「地場産品の知名度向上」「地域資源の活用」「地域コミュニティの活性化」「次世代人材育成」「観光振興」「交流人口の拡大」の他、例えば「エネルギーの地産地消」など住民福祉の向上に資する再生可能エネルギーの取り組みを連携事項として定めています。

旧白石小学校利活用と企業立地に向けて連携

株式会社アジラ

村は株式会社アジラと、7月2日に「旧白石小学校利活用及び企業立地に関する連携協定」を締結しました。

東京都町田市に本社を置く同社は、実績ある自社保有の最先端のAI技術を駆使して、旧白石小学校を防災・見守りインフラの核拠点として活用していくこと、積極的に地域貢献を図っていくことなどを提案に揭げています。

同社は、地元行政区長の立ち会いのもと村と連携協定を締結し、企業立地のスタートラインに立つことを公表。実行の目処がついた時点で、関係機関と改めて協議を進めていくこととしています。

連携協定の協定書
※飯館村HPから



連携の内容

- 復興創生及び地域活性化に資する事業の推進
- AI等の先端技術を活用した地域課題の解決
- 地域団体との交流活動（草刈り、行事参加など）
- 村のPR活動への協力
- 地域活性化に資する事業の推進
- 農業・福祉・防災分野における技術協力
- 村と周辺地域を対象とした研修や技術教育
- STEAM教育（科学・技術・工学・芸術・数学の5領域を横断する新しい学び方）や職場体験で学校等と連携



旧白石小学校

この協定に至った経緯は？

本年、旧白石小学校の利活用を進めるために、広く民間からの提案を公募してきた結果、旧学区の4行政区長が加わって開かれたプレゼンテーション審査会において、株式会社アジラの提案が採択されました。また、同社から「国の企業立地補助金を活用したい」との申し出があったことも踏まえて、今回、「旧白石小学校を事業活動の拠点とすることを許可すること」「村としても国の補助金採択に向けて協力していくこと」をあわせ明示した「連携」協定を締結しました。

同社は旧白石小に立地することが決まったの？

いいえ。同社は現在、村への企業立地に向けて「準備をしている段階」です。また同社が直接申請した国の補助金の審査結果を待っている段階と伺っています。同社の企業立地が確定した後、あらためて「賃貸借契約」等の契約を締結することとしています。

同社の提案した事業を村としても取り組むの？

提案はいただきましたが、関係機関を交えた検討はこれからとなります。

同社は現在、村への企業立地に向けて「準備をしている段階」です。同社の企業立地が決まった後に、村として取り組むべきものがあれば、関係機関、地元行政区などと協議していくこととなります。

飯館村は、他にも多くの企業に応援・貢献をいただいています

長く地域に貢献している既存の企業の皆さんはもとより、震災後に新たに進出された企業の皆さんも加わり、村や村の子ども達に、さまざまな形でご支援をいただいています。今後もよりよい連携を継続できるよう努めてまいります。

飯樋地区に出現した広大なデントコーン畑。農事組合法人「13区営農組合」が、農地中間管理事業で集積した農地の約26haで栽培しています。デントコーンは、世界中で広く栽培されている飼料用作物。コーンサイレージの出来映えは、酪農牛・肉牛の生産性を大きく左右するとも言われています。同組合は、国内最大の産地である北海道を視察したり、専用の機械を導入したりして生産拡大に取り組み、畜産の現場を支えています。



ご長寿を祝して

令和8年度 長寿番付

91歳以上の方の長寿番付の発表です！お名前は敬称略で年齢・行政区順に掲載しています。なお、立村70周年の記念イベントとして10月4日に開催する『令和8年度飯舘村敬老会』については75歳以上の方に招待状をお送りしています。敬老会の様子は広報いいたて11月号でお伝えします。

104歳	女性	田村マツヨ	伊丹沢
103歳	男性	今野義實	前田・八和木
101歳	女性	横田フミエ	草野
101歳	女性	齊藤マツヨ	深谷
100歳	女性	横山キクヨ	草野
100歳	女性	庄司ヤイ子	伊丹沢
100歳	女性	佐藤ヨシノ	八木沢・芦原
99歳	女性	高橋キヨ子	小宮
99歳	女性	長谷川トメノ	宮内
99歳	女性	杉上キイ	蕨平
98歳	男性	志賀正二	小宮
98歳	女性	渡邊きみ子	小宮
97歳	女性	木幡トヨノ	伊丹沢
97歳	女性	長谷川キミノ	伊丹沢
97歳	女性	高橋保子	小宮
97歳	女性	赤石澤イハ枝	飯樋町
97歳	女性	北山ミツ子	飯樋町
97歳	女性	村上エイ子	上飯樋
96歳	女性	市澤ナヲ子	深谷
96歳	女性	庄司ミイ子	伊丹沢
96歳	女性	菅野重子	伊丹沢
96歳	女性	高橋チイ	伊丹沢
96歳	女性	佐藤ユキイ	大倉
96歳	女性	荒 コフ	飯樋町
96歳	女性	北山フヨノ	飯樋町
96歳	男性	佐藤利雄	前田・八和木
96歳	女性	藤井喜江	上飯樋
96歳	男性	菅野武治郎	比曾
96歳	男性	佐藤正清	関根・松塚
95歳	女性	横山アキ子	草野
95歳	女性	菅野ツメヨ	伊丹沢
95歳	女性	高橋圭子	伊丹沢
95歳	女性	星 ミサヨ	伊丹沢
95歳	女性	伊東キヨ	関沢
95歳	女性	酒井マサ子	小宮
95歳	女性	半澤ミヤ子	八木沢・芦原
95歳	男性	佐々木謹一	佐須
95歳	女性	小林トヨ子	前田・八和木

95歳	女性	久保内スミ子	大久保・外内
95歳	女性	桑折トシイ	上飯樋
95歳	女性	高橋トキ子	上飯樋
95歳	女性	菅野フクノ	比曾
95歳	男性	菅野 安	比曾
95歳	男性	高橋與吉	長泥
95歳	女性	赤石澤秀子	白石
95歳	女性	佐藤カヨノ	二枚橋・須萱
94歳	男性	中野幸夫	草野
94歳	男性	渡部清長	草野
94歳	女性	庄司登美子	伊丹沢
94歳	女性	末永キク子	伊丹沢
94歳	男性	須藤浪男	伊丹沢
94歳	女性	西川ハツ子	伊丹沢
94歳	女性	原田ミツヨ	伊丹沢
94歳	女性	松下フジイ	伊丹沢
94歳	男性	菅野吉雄	小宮
94歳	女性	小山田廣子	小宮
94歳	女性	森 京子	八木沢・芦原
94歳	女性	佐藤仲子	前田・八和木
94歳	女性	横山ヨシ子	前田・八和木
94歳	女性	佐藤ユキ	上飯樋
94歳	女性	高橋スエ	上飯樋
94歳	男性	細川太壽	上飯樋
94歳	男性	菅野百二	比曾
94歳	女性	須藤トヤノ	比曾
94歳	女性	中島美子	比曾
94歳	女性	菅野カネヨ	長泥
94歳	女性	今福ミツ井	白石
94歳	男性	長谷川利治	前田
93歳	女性	青山アイ子	草野
93歳	男性	坂本 仁	草野
93歳	女性	高橋トシ	草野
93歳	女性	齋藤美代子	深谷
93歳	女性	菅野キミ子	伊丹沢
93歳	女性	志藤 林	伊丹沢
93歳	女性	高橋安子	伊丹沢
93歳	男性	井上義廣	関沢

93歳	女性	三輪榮子	関沢
93歳	女性	菅野キミヨ	小宮
93歳	女性	阿部泰子	佐須
93歳	女性	阿部シゲノ	宮内
93歳	女性	中川あい子	宮内
93歳	男性	菅野重光	飯樋町
93歳	女性	渡邊幸子	飯樋町
93歳	女性	赤石澤ハルノ	前田・八和木
93歳	女性	長正ハツノ	大久保・外内
93歳	女性	大谷タニ子	上飯樋
93歳	男性	大澤一穂	上飯樋
93歳	女性	志賀タケ子	上飯樋
93歳	女性	細川ハツミ	上飯樋
93歳	女性	五百川晴子	蕨平
93歳	男性	佐藤 萬	白石
93歳	男性	山岸登喜男	白石
92歳	女性	佐藤ミツイ	草野
92歳	女性	花井キヌヨ	伊丹沢
92歳	女性	山田貴美子	伊丹沢
92歳	女性	齋藤カツ子	伊丹沢
92歳	女性	飯畑ハナ子	小宮
92歳	女性	佐藤歌子	八木沢・芦原
92歳	女性	濱名榮子	八木沢・芦原
92歳	女性	大槻美奈	大倉
92歳	男性	大内直美	佐須
92歳	男性	佐々木金男	佐須
92歳	女性	熊川ハル子	飯樋町
92歳	女性	佐藤トリ	飯樋町
92歳	女性	原田ミツ子	飯樋町
92歳	女性	高橋貞子	前田・八和木
92歳	女性	高橋タカヨ	前田・八和木
92歳	男性	只野 俊	前田・八和木
92歳	男性	清水利一	蕨平
92歳	女性	高田ヨシ子	関根・松塚
92歳	女性	佐藤ハツ子	白石
92歳	男性	林 淳	白石
92歳	男性	花井正志	前田
92歳	女性	高橋セツ子	二枚橋・須萱

91歳	女性	中野マサヨ	草野
91歳	女性	渡部キエ	草野
91歳	男性	村山四郎	深谷
91歳	女性	庄司トメノ	伊丹沢
91歳	女性	杉浦オナス	伊丹沢
91歳	女性	高田愛子	関沢
91歳	男性	高橋二郎	関沢
91歳	男性	只野由勝	小宮
91歳	男性	佐々木和夫	八木沢・芦原
91歳	男性	佐藤 昭	大倉
91歳	男性	鈴木信夫	大倉
91歳	女性	佐々木ユキ子	佐須
91歳	女性	佐藤ヤチヨ	宮内
91歳	女性	石井トミノ	飯樋町
91歳	女性	伊藤乃子	飯樋町
91歳	女性	古川光子	飯樋町
91歳	女性	金澤トシ	前田・八和木
91歳	男性	渡邊繁雄	前田・八和木
91歳	女性	赤石澤ツルヨ	大久保・外内
91歳	女性	佐藤ナカ子	大久保・外内
91歳	女性	八巻ヨシ子	上飯樋
91歳	女性	菅野アキノ	比曾
91歳	女性	菅野ミヨ	比曾
91歳	女性	高橋久子	比曾
91歳	女性	菅野キシノ	長泥
91歳	女性	菅野ツル	長泥
91歳	男性	菅野富士夫	蕨平
91歳	女性	齋藤律子	蕨平
91歳	女性	菅野キミ子	関根・松塚
91歳	女性	林 たまよ	白石
91歳	女性	三浦澄枝	白石

長寿番付のお名前は旧字体を常用漢字で表記しています。ご了承ください。

年齢は起算日の令和8年4月1日現在の年齢です。



旧相農飯館校の備品を 希望者にご活用いただきます

旧県立相馬農業高等学校飯館校の解体に伴い、体育館に残っていた時計や木製棚、バスケットゴール、校歌額などの備品を、希望者にお譲りしました。8月4日の引き渡し日、受け取りに訪れた皆さんは、「母校の思い出として家に飾りたい」「再利用して職場で活用したい」などそれぞれの想いを話していました。歴史ある学校の思い出深い品々が新たな場所で活用され、飯館村の記憶を未来へつないでいきます。



校歌額を受け取る佐藤八郎さん(右／深谷)。震災の記録として展示をする予定だそうです。



新橋地区の情緒豊かな夏祭り 『新橋こいち祭』に出展しました

7月23日・24日の2日間、東京都港区で開催された『新橋こいち祭』(新橋地区商店会主催)に出展しました。首都圏に暮らす皆さんに、飯館村の情報や特産品を直に届けて、関心や共感を育み、訪問のきっかけにもしていただくという取り組み。「飯館村魅力向上発信事業」の一環です。



新橋駅前の「SL広場」にブースを構え、生産者と役場職員が、物産の販売を通して来場者と交流。一人ひとりに飯館村の魅力を伝えました。



新橋駅前にて、飯館産の夏の花々、黒毛和牛メニュー、ドリンクなどを販売し、来場者と交流しました。

飯館電力株式会社から 寄附をいただきました

飯館電力株式会社(菅野宗男代表取締役社長／佐須)から、飯館村の「陽はまた昇る基金」に、19万6,000円の寄附をいただきました。

8月6日、同社の荒利喜さん(飯樋町)と三瓶政美さん(大久保・外内)が役場を訪れ、杉岡村長に寄附の目録を手渡しました。同社からは令和5年度から継続して寄附をいただいています。

「陽はまた昇る基金」は、なりわいの再生など、震災からの復興に関する取り組みに活用されています。



杉岡村長に寄附の目録を手渡す飯館電力株式会社の荒さん(右から2人目)と三瓶さん(右端)。

雨に負けない熱戦と笑顔の交流 第5回村長杯パークゴルフ大会

7月26日、いいたてパークゴルフ場で、「第5回飯館村長杯パークゴルフ大会」を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、参加者の皆さんは、互いに声援を送りながら、笑顔でプレーを楽しんでいました。大会結果は次の通りです。

【男性の部】1位:伏見光男さん(川俣町)／2位:高橋則雄さん(二枚橋・須萱)／3位:伊藤秀一さん(二本松市)

【女性の部】1位:北原澄子さん(宮内)／2位:猪狩幸子さん(福島市)／3位:佐藤裕子さん(南相馬市)



村内外から多くの方が参加して、雨にも負けず熱戦を繰り広げました。杉岡村長を囲んでの記念撮影。

村役場で避難訓練・ 災害対策本部訓練を実施

8月19日、役場庁舎で、消防飯館分署の協力のもと、火災を想定した避難訓練と、役場消防隊による放水訓練を実施。火災発生時の初期消火や避難経路の確認などを行いました。

また、同日午後には、株式会社ネクセライズの協力で、災害発生状況を仮想しシミュレーションする災害対策本部訓練を実施。情報収集や職員間の連携など、災害時に必要となる対応を確認し、防災意識を高めました。



火災を想定した避難訓練。役場消防隊の放水訓練の他、消火器を使った初期消火の訓練も行いました。



飯館村の農業をテーマに 東北大学で特別講義

東北大学(宮城県仙台市)で、7月24日、飯館村のスマート農業をテーマに特別講義が行われ、同大農学部の学生ら25人が受講しました。この特別講義は「いいたて移住サポートセンター」の企画で、村内の耕作放棄地で大規模農業を行う農地所有適格法人「ちーの」の中谷内美昭代表が講師を務めました。中谷内代表は、AI技術やドローンなどを活用した米の栽培方法を紹介。農業再生に挑戦する意義、地域のポテンシャルなども受講生に伝えました。9月には現地にて、フィールドワークが実施される予定です。



飯館村での取り組みを語る中谷内代表。「農業の技術革新を実現し浜通りから世界に発信したい」。

阿部さんのヒマワリ畑 台風で倒れても

自宅の周りに広がる約200aの畑を肥やし、春に種をまいてヒマワリを育て、地域の人や訪れる人に、毎年美しいヒマワリ畑を無料開放している阿部勝男さん(佐須)。今年も手をかけ、広大なヒマワリ畑を整備しました。ところが開花を間近に控えた8月初旬、台風15号がもたらした風雨の影響で、つぼみをつけたヒマワリが全てなぎ倒されてしまいました。開花を楽しみに、すでに人々の来訪が始まっていた時期。阿部さんは、「楽しみにしていた人に見てもらうことができない」と失意の涙を浮かべていました。しかし数日後、阿部さんのヒマワリは、茎を斜めに倒されたまま、大きな花を咲かせ、一面をヒマワリ色に染めました。阿部さんは「このような形になっても花は咲く、その姿を見てほしい」と来訪者を受け入れ、健気に咲いた自慢のヒマワリを公開しました。



菊池製作所 献血への協力で表彰

7月29日、福島県赤十字血液センター(福島市)で、「第62回献血運動推進全国大会 厚生労働大臣表彰状及び感謝状の伝達式」が行われ、株式会社菊池製作所福島工場(草野)に、厚生労働大臣感謝状が贈られました。式では、菅野俊彦福島県保健福祉部長から、齋藤政宏製造本部長(前田)に感謝状が伝達されました。同社は同工場を会場に毎年献血を実施し、長年にわたり献血運動に協力しています。



13区『音楽フェスと区民の集い』

7月26日、上飯樋集会所で、「13区を考える会」主催の『音楽フェスと区民の集い』が開催されました。出演は、区民の音楽グループ「13区楽団」や、「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」のメンバーなど。子ども達が、鍋やボウルなど身近なものを楽器に見立てて音楽に合わせて演奏する場面もありました。さらに集会所の外では、焼きそばやかき氷が振る舞われた他、竹製の水鉄砲や押し玉鉄砲など昔遊びを通して多世代が交流を深めました。



くまカフェ ジョイントコンサート

8月20日、交流センター「ふれ愛館」で、「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」主催の『祝・飯館村創立70周年ジョイントコンサート』が開催されました。同喫茶の音楽ユニット「Shimva & ファンキーズ」をはじめ、夫婦ユニット「音の森(The Sound Forest)」、シンガーソングライターanna callaさんの3組が出演。それぞれのカラーで心に響く演奏を披露しました。観客も大いに盛り上がり、音楽でつながる喜びにあふれたコンサートとなりました。



ユナイテッドFC杯

8月5日、いたてスポーツ公園サッカー場で、「2026福島ユナイテッドFCカップ U12大会」予選リーグの試合が実施されました。この大会は、飯館村も加盟する「ふくしま田園中枢都市圏」が主催し、J3リーグのプロサッカーチーム「福島ユナイテッドFC」と連携して開催しています。今大会には、県内外から24チームが参加。飯館村では2ブロック8チームの試合が行われ、高原の青空の下、小学生選手の全力プレーが繰り広げられました。



3地区でふるさとの盆踊り

8月13日と14日に、二枚橋・須萱、草野、飯樋町の3地区で、盆踊りや夏祭りが行われました。それぞれ住民の皆さんが力を合わせ、趣向を凝らして開催したものです。会場では、太鼓や笛の演奏が始まると、自然と踊りの輪が広がり、お囃子に合わせた合いの手や笑い声が楽しげに響きました。また、どの会場でも、帰省した住民や子ども達が久しぶりの再会を喜び合う、お盆の時期らしい光景が見られました。



8月14日、飯樋4行政区の「豊年盆踊り大会」。住民有志のバンド演奏やカラオケも会場を盛り上げました。



8月13日、草野行政区の「夏まつり」。集会所内では子ども向けのミニ縁日も催されました。



8月13日、二枚橋・須萱行政区の「盆踊り」。東大むら塾の皆さんも参加しました。

「日本で最も美しい村」連合
合同物産展バスツアー

大玉村の「おおたまうまいもの祭り」に合わせて開催される『「日本で最も美しい村」連合県内加盟町村(三島町、昭和村、大玉村、飯館村)合同物産展』を訪れるバスツアーを実施します。各町村の特産品や、大玉村のおいしいものがたくさん味わえるお祭りです。ぜひご参加ください。

日時(集合と解散)

10月18日(日)

集合 午前8時20分

解散 午後3時30分

集合場所 飯館村役場正面玄関

参加費/定員

参加費 1人500円(当日集金)

定員 40人(先着順)

申し込み方法

参加をご希望の方は、電話またはメールにて村づくり推進課までお申し込みください。詳細は飯館村HPでご確認ください。

締切 10月5日(月)

問 村づくり推進課企画定住係

☎0244(42)1622

✉kikaku@vil.itate.fukushima.jp

いいたてスポーツ公園で
キッズサッカー教室を開催

「サッカーをやりたい」「やってみたい」キッズのみんな集まれ！初めてでもOK、親子での参加も大歓迎です。お友達を誘って参加してください。

日時

10月17日(土)

午前10時～正午(午前9時30分受付)

場所

いいたてスポーツ公園サッカー場

※雨天時は屋内コート

講師

IBC 大内亮氏

(JFAコーチライセンス取得)

参加費/定員

参加費 1人500円(当日集金)

定員 20人(定員になり次第締切)

持ち物など

※サッカーシューズまたは運動靴・タオル・飲料水・運動ができる服装で参加してください。

※初心者・女の子も楽しめるプログラムです。

申し込み方法

参加をご希望の方は、メール・FAXもしくはスポーツ公園窓口にてお申し込みください。詳細は広報いいたてお知らせ版8月20日号に同封したチラシをご覧ください。

FAX 0244(42)1300

✉iispo@vil.itate.fukushima.jp

問 いいたてスポーツ公園

☎0244(42)0152

道の駅にて開催します

「飯館村花の品評会」

飯館村の花農家が育てた美しいお花が大集合！ぜひこの機会に、たくさんの方のご来場をお待ちしています。

日時

9月12日(土)～14日(月)

午前9時30分～午後6時

※14日は午後3時まで。午後4時からは表彰式を行います。

場所

いいたて村の道の駅までい館多目的スペース

問 産業振興課農政係

☎0244(42)1625

いいたて村文化祭
出展作品を募集中です！

『いいたて村文化祭』総合文化展の展示作品を募集しています。出品は、個人・グループを問いません。毎年、手芸作品・絵画・書写真・立体作品などを幅広く展示しています。ぜひお気軽にご応募ください。お待ちしております。

申し込み締切

9月18日(金)

※申し込み用紙に必要事項を記入し生涯学習課にご提出ください。

展示について

10月22日(木)～28日(水)
交流センター「ふれ愛館」

搬入日 10月19日(月)・20日(火)

搬出日 10月29日(木)

※搬入・搬出の時間はいずれも午前9時～午後5時

申し込み用紙は全戸配付しています。村のHPからも取得できます。▼



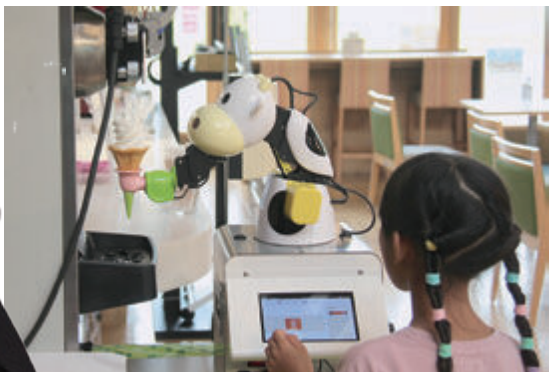
問 生涯学習課

(交流センター「ふれ愛館」)

☎0244(42)0072

道の駅9周年お客様感謝祭

8月12日、いいたて村の道の駅までい館が「9周年お客様感謝祭」を開催しました。開館9周年を祝うイベントで、特別記念きっぷの配布やお楽しみ抽選会などが催されました。また、この日に合わせて「いいたて雪っ娘かぼちゃソフトクリーム」を新発売。ロボットがソフトクリームを提供する「もーもーソフト」も特別販売されました。また、イイタネちゃんの出迎えや大道芸、音楽演奏などのパフォーマンスも行われ、9周年記念のイベントに花を添えました。



道の駅では季節の花も来館者を楽しませています。写真はいいたてオリンピア。(8月6日撮影)

8月の村の動きと主なできごと

- 1日・語学研修「希望の里WAKUWAKUEツアー」
第3回事前研修及び結団式(いいたて希望の里学園)
- ・立村70周年記念「第5回いいたてナイター駅伝」
(いいたてスポーツ公園)
- 4日・旧福島県立相馬農業高等学校飯館校 備品引き渡し
(旧福島県立相馬農業高等学校飯館校)
- 4日～11日・語学研修「希望の里WAKUWAKUEツアー」
(オーストラリア各所)
- 12日・いいたて村の道の駅までい館9周年お客様感謝デー
(いいたて村の道の駅までい館)
- 18日・定例教育委員会(福島市・アクティおろしまち)
- 19日・飯館村役場避難訓練・災害対策本部訓練(村役場)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 22日・語学研修「希望の里WAKUWAKUEツアー」
第1回事後研修(交流センター「ふれ愛館」)
- 25日・第20回市町村対抗福島県軟式野球大会及び第13回市町村対抗福島県ソフトボール大会 飯館村チーム結団式(村役場)
- 27日・企業立地セミナー(東京都千代田区・帝国ホテル)

飯館村を形づくる個性豊かな
20行政区を連載で紹介します

いいたて20行政区 vol.5 5区 小宮行政区

飯館村で最も広い面積を持つ小宮行政区。コミュニティセンターや簡易郵便局がある中心地の他、野手神、沿平、山辺沢、萱刈庭などの地区があり、それぞれに美しい里山の風景が広がっています。県道31号線とその支線が、各地区を結んでいます。

自然が豊かな地域で、国有林の払い下げが行われていた昭和期には林業が発達し、薪や炭の生産が盛んに行われました。また、山あいの小さな水田に至るまで、までに農業が営まれ、米・野菜・花・タバコなどが栽培されていました。野手神地区の名峰「野手上山」は、遊歩道や登山道が整備され、「うつくしま百名山」にも選ばれています。美しい森や山野草との出会いを楽しみに、遠方からも多くの登山客が訪れ、地域の人も親しまれました。

野手神山神社の参道入口で毎年11月に催されていた祭り。餅つきや芸能の披露などでにぎわいました。



立村50周年に合わせ登山家の故・田部井淳子さんと野手上山を歩くイベントが開催されました。(平成18年)



小宮民俗芸能保存会による「小宮の田植え踊り」。(令和7年)

花仙人こと大久保金一さんの「マキバノハナソノ」。(令和8年)



小宮行政区(5区)

区民数273人(令和8年8月1日現在/住基人口)

自然豊かで、農業や林業が盛んな地域でした。かつては商店も4軒ほどあったと記憶しています。震災で避難をしましたが、私は村の自宅も建て直しました。何も気を遣うことのない村の暮らしは、都会にはないよさがあると改めて感じています。区内の農地は、山あいの小さな区画は手付かずの所もありますが、道沿いの大きな区画は営農を再開しています。また、区で県道・村道の草刈りを行っています。若い人を含め、毎回約50人程が出て来ています。行政区の懇親会にも多くの人が参加をして、皆さんの協力に感謝をしています。



高橋 正一 区長



平成

全村避難に伴い福島市飯野町に旧工場を改修した仮設の飯館中学校を開校。(平成24年)



令和

義務教育学校いいたて希望の里学園を開校。写真は初めての入学式。(令和2年)

村立学校の今と昔

さまざまな場所
や暮らしの変化
を見てみよう。

いいたて 今昔物語

村制施行
70周年



昭和

保護者の協力により白石小学校の裏山にアスレチックコースが登場。(昭和30年)



平成

「楽しい学校」をコンセプトに設計された飯樋小学校の新校舎が完成。(平成16年)

子どもが大勢いた昭和前期、村内には本校・分校を合わせて、小学校が11校、中学校が4校ありました。子どもの数は時代と共に減少し、学校は統合が進みました。昭和63年には草野中学校と飯樋中学校を統合した飯館中学校が村で唯一の中学校となり、生徒は村内全域からスクールバスで通学するようになりました。平成23年には、東日本大震災と原発事故により、当時の3小学校(草野・飯樋・白石小学校)と飯館中学校も避難。川俣町の学校施設を間借りした後、翌平成24年に仮設校舎が開校しました。非常に困難な時期でしたが、その環境さえも学びの糧とした先生方の熱意ある指導、保護者の皆さんの協力により、避難の中でも充実した教育が行われました。平成30年に村へ戻った小中学校4校は、1つの校舎で学校生活を送ることとなり、令和2年には統合され、9年制の義務教育学校、いいたて希望の里学園が誕生しました。

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」
からのお知らせです。

おすすめ図書を紹介します

『ゼロからの読書教室』



読書猿著
NHK出版

「活字を読むと眠くなる」「子どもが本を読まない」と悩んでいますか? この本は、読書が苦手な人でも読書を気軽に楽しいものに変えてくれる1冊です。目からウロコのテクニックをどうぞ!

また、9月21日は、「世界アルツハイマーデー」です。認知症は誰にとっても身近なものです。大切なのは、正しい知識と温かい見守り。交流センターでは、認知症についての本を掲示しておりますので、この機会に認知症について理解を深めましょう。

本の貸し出しご利用ください

問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072

熱き想いのタスキをつなごう 飯館村はいよいよ70周年

杉岡 誠 村長の 愛 楽 故 郷 味

あいらくふるさとみ



いよいよ来たる9月30日に、本村は「村制施行70周年」を迎えます。長きに亘り、数多の先達が惜しみなく手をかけ、愛情を持って守り抜いてくださった美しく豊かなふるさと飯館村。私達もまた、先祖方々が愛したこのかけがえのないふるさとを未来へとしっかりと守り継いでいきたいと思います。10月4日の記念イベントに奮ってご参加ください。

添つてまいります。

飯館村という真つ白なキャンバスに、ふるさとの担い手の皆様が多様な彩りを加えてくださっております。村は皆様の意欲を形にできる各種補助制度もご用意して、「飯館村でこれが見たい」という熱い想いに寄り添つてまいります。

歌と音楽で地域おこしを進めている協力隊員も出演した3組のアーティストによる「祝飯館村創立70周年 ジョイントコンサート」では、心に響く歌を堪能しました。私は公務で途中退席しましたが、「その後も魂が揺さぶられるような感動のコンサートでした」と参加された方にお聞きしましたので、今回の開催を楽しみにしたいと思います。

そして、このコラムを書いている時点ではまだ開催されておりませんが、月末には「いいたてハーレーサマーフェス」が初開催されます。

飯館村という真つ白なキャンバスに、ふるさとの担い手の皆様が多様な彩りを加えてくださっております。村は皆様の意欲を形にできる各種補助制度もご用意して、「飯館村でこれが見たい」という熱い想いに寄り添つてまいります。

またお盆期間には、各地区の創意工夫と想いが溢れる盆踊り大会が開催されましたが、それぞれ、お子さまから高齢の方まで多世代が集い喜びあう情景に、私も小さいころに体験した飯館村の夏の一夜を思い起こしました。

葉月を迎えてからの梅雨明けとなる中、飯館村では様々なイベントが皆様をお迎えしました。

月初めに開催された第5回目いいたてナイター駅伝では、初参加となる「いいたて希望の里学園」小学1年生4人の奮闘に感動しきりでした。懸命に走るその小さな姿に誰しもが歓声をあげていましたが、特にアンカーのお子様のラスト200mでは、周りの大人の皆様と一緒に走り終えていた同級生3人も伴走しながら応援の声をかけ続けていて、その温かい光景に涙をこぼしました。そしてゴール後には親御さんはじめみんなに迎えられるながらも、一番にベビーカーに眠る赤ちゃんに抱きつきにいくお姉ちゃんとしての姿にも感涙をおぼえました。

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

氏 名	行政区
花 井 岬 さん	白 石
菅 野 風 希 さん	佐 須

HAPPY WEDDING!

ひとのうごき 令和8年8月1日現在

人 口	今 月 (前月比)	7月1日～30日までの人口動態
● 男	2,177人(－8)	転入 6人
● 女	2,080人(－3)	転出 7人
計	4,257人(－11)	出生 0人
世帯数	1,774戸(±0)	死亡 10人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏 名	年齢	行政区
木 幡 良 一 さん	90	伊丹沢
北 原 昇 さん	92	宮 内
圓 谷 つたえ さん	77	蕨 平
木 幡 仲 子 さん	85	八木沢・芦原

ご冥福をお祈り申し上げます



(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

暮らしの耳より情報 ⑥ 「資源ごみ」の出し方を改めて確認しましょう

Check ! 資源ごみ⇒ ①②③をそれぞれ分類し市販の透明・半透明の袋に入れて指定集積所へ。

①びん類：無色、茶色、その他(黒・青・緑等)に分けて、集積所に出してください。
※びんのラベルは剥がさなくてもかまいません。中を軽く水洗いしてください。

②ペットボトル：ラベルとふたを取って、中を軽く水洗いしてください。

※卵ケースやウォーターサーバーのボトルが混ざっていることがあるのでご注意ください。



③空き缶

※中を軽く水洗いしてください。

Check ! 紙類・段ボール、白色トレイ等 ⇒ ①②をそれぞれ分類して行政区の定める集積所へ。

①紙類(新聞紙、段ボール、雑誌類)は行政区の定める集積場に出してください。

※ひもでしばるなどして、運びやすい形で出してください。



②白色トレイ

※きれいに洗浄して市販の透明・半透明の袋に入れて出してください。

決められた収集日の当日、朝8時までに出してください。 問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー
月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



テーマは
「地域で作る交流の場」
～思い出に残るBBQ～

撮影者
本名洋文さん(関根・松塚)



「自然の中でやるバーベキューはいいものです」と話すのは、関根・松塚行政区の本名区長。写真は、地域の皆さんと村民の森あいの沢の民家園でバーベキューをした時のもの。「地域の人が集まる場を作り、地元で頑張る事業者も応援しよう」と始めました。“昨年よりさらにいいイベントにしよう”と続けて、4年目になります。この日は屋内で会食をする予定でしたが、「テントで食べよう」という声が出て、写真のような食事風景になりました。

「参加してくれる皆さんの協力があったこそですし、みんなで作り上げるイベントだと思っています。家族の会話が増えるきっかけになればうれしいし、子ども達には、おじいちゃんおばあちゃんと過ごす夏の思い出と共に、ふるさとを想う気持ちが芽生えればいいなと思っています」。

10月号 9/14締切
例えば…「敬老」「残暑」「月」「リンドウ」をテーマに。

11月号 10/16締切
例えば…「稲刈り」「運動会」「秋の音」「芋掘り」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1～2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選 考 応募多数の場合は選考します。
- 報 償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当：巻野) ☎0244-42-1613

第2回 いいたてほんの森まつり 交流センターが「ほんの森」になる特別な1日

8月1日、交流センター「ふれ愛館」で、ボランティア団体「いいたてネットワーク」主催の『いいたてほんの森まつり』が開催されました。震災の影響で惜しまれつつ閉店した村営の書店「ほんの森いいたて」に想いを重ねたイベントです。

ホールにさまざまなコンセプトの古書店が書棚を並べ、店主がセレクトした絵本や小説、こだわりの実用本や貴重な古書などを販売。来場した皆さんが、本談義に花を咲かせながら、「ほんの森」の散策を楽しみました。



2



1



4



3



6



5

1・2) 県内外の古書店が来店し、1冊1冊の魅力を丁寧に伝えながら選書のアドバイス。来場者はゆったりと各店を巡り、さまざまな本との出会いを楽しんでいました。
3) 交流センターの白いピアノ「織里音(おりおん)」の調べが彩る絵本の読み聞かせも。
4・5・6) 村民有志や福島大学の学生によるさまざまなイベント、作品の展示販売なども行われました。その他、この日に合わせてブレンドされたコーヒー「ほんの森ブレンド」や学生主催の「いいたて村の村民食堂」も人気を集めました。

〈編集後記〉

私が小学生の頃、地区の盆踊りは自分にとって一番の楽しみでした。いろいろな仮装をして町を練り歩く「仮装盆踊り」で、私も毎年いろいろな仮装をしたこと覚えています。今思えば、私を楽しませるために趣向を凝らした衣装を毎年つくってくれた母や、その姿を見て笑顔でほめてくれた家族、地域の皆さんがいたからこそ、大切な思い出になったのだと思います。あらためて感謝を感じた盆踊りの取材でした。(巻野)

オーストラリアの語学研修に参加した生徒さんがレポートに綴った率直な言葉。旅で見つけた宝物を分けてもらったような気持ちになりました。ライター 駅伝では仲間を想いタスキをつなぐ姿に胸がぎゅっとなつて子ども達にたくさん勇気をもらった夏でした。(星)

「10年後への手紙」発送します

平成28年の立村60周年に合わせて実施した「続・10年後への手紙～大切なあなたへ～」プロジェクトで預かりした1043通の手紙を70周年を迎える9月30日に発送します。



誰にどんな手紙が届くのでしょうか。楽しみにお待ちください。



お願い

宛名の方が引越などで当時と異なる住所にお住まいの場合はお知らせください。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613